



令和4年

年頭のあいさつ

誰もが主役になれる

「人と自然が調和した持続可能なまちづくり」
を目指して！

市長 本坊輝雄



新年明けましておめでとうござ
います。

この度、引き続き4期目となる
市政の舵取り役を担わせていただ
くことになりました。

これまでの3期12年にわたって賜
りましたご理解とご協力に対し、心
から感謝申し上げますとともに、市
民の信頼と期待に応えるため、全力
で市政運営に取り組んでまいります。

さて、一昨年からこれまで、誰
も経験したことのないコロナ禍の
生活が長期に及び、昨年11月末に
は、新たな変異株「オミクロン株」
が日本で確認されるなど、いまだ
深刻な状況が続き、地域経済も大
きな打撃を受けております。

まずは3回目のワクチン接種をは
じめとする感染予防対策と医療体制
を整え、市民の命と健康を守り、地域
経済の再生に取り組んでまいります。

昨年は加世田市街地の浸水対策
として実施してまいりました都市下
水路事業が完成し、また本年3月に
は公共下水道の供用が始まります。

令和5年の新薩南病院開院や小

中一貫校金峰学園開校、令和6年の
(仮称)南薩地区新クリーンセンター
供用開始など、ビッグプロジェクト
についても一歩ずつ着実に進め、市
民が安全・安心に暮らせる生活環境
づくりに努めてまいります。

4期目が本格的にスタートする
年にあたり、これまでの成果や新
たな課題を踏まえ、令和4年度か
ら5年間で計画期間とする第3次
総合振興計画を策定し、産業力を
高め、子育て支援の充実や、健康
寿命を延ばす取り組み、地域コ
ミュニティを育てる施設の整備等
を進め、誰もが主役になれる「人
と自然が調和した持続可能なまち
づくり」を目指してまいります。

ポストコロナを見据え、過疎の
波を押しよけ、限られた財源を有
効に活用し、令和7年度の市制20
周年に向け、各種事業を積極的に
推進してまいります。

結びに、一日も早く安心して暮
らせる日常を取り戻すために全力
で取り組むことをお誓い申し上
げ、年頭のあいさつといたします。